

第2回 復興道路会議 ～ 岩手県 ～

日 時：平成24年 3月23日（金）

10：00～11：30

場 所：宮古地区合同庁舎3階会議室

議 事 次 第

1. 挨拶

国土交通省 東北地方整備局 道路部長

岩手県 県土整備部長

2. 議 事

1) 復興道路の進捗状況について

2) 課題解決へ向けた取り組みについて

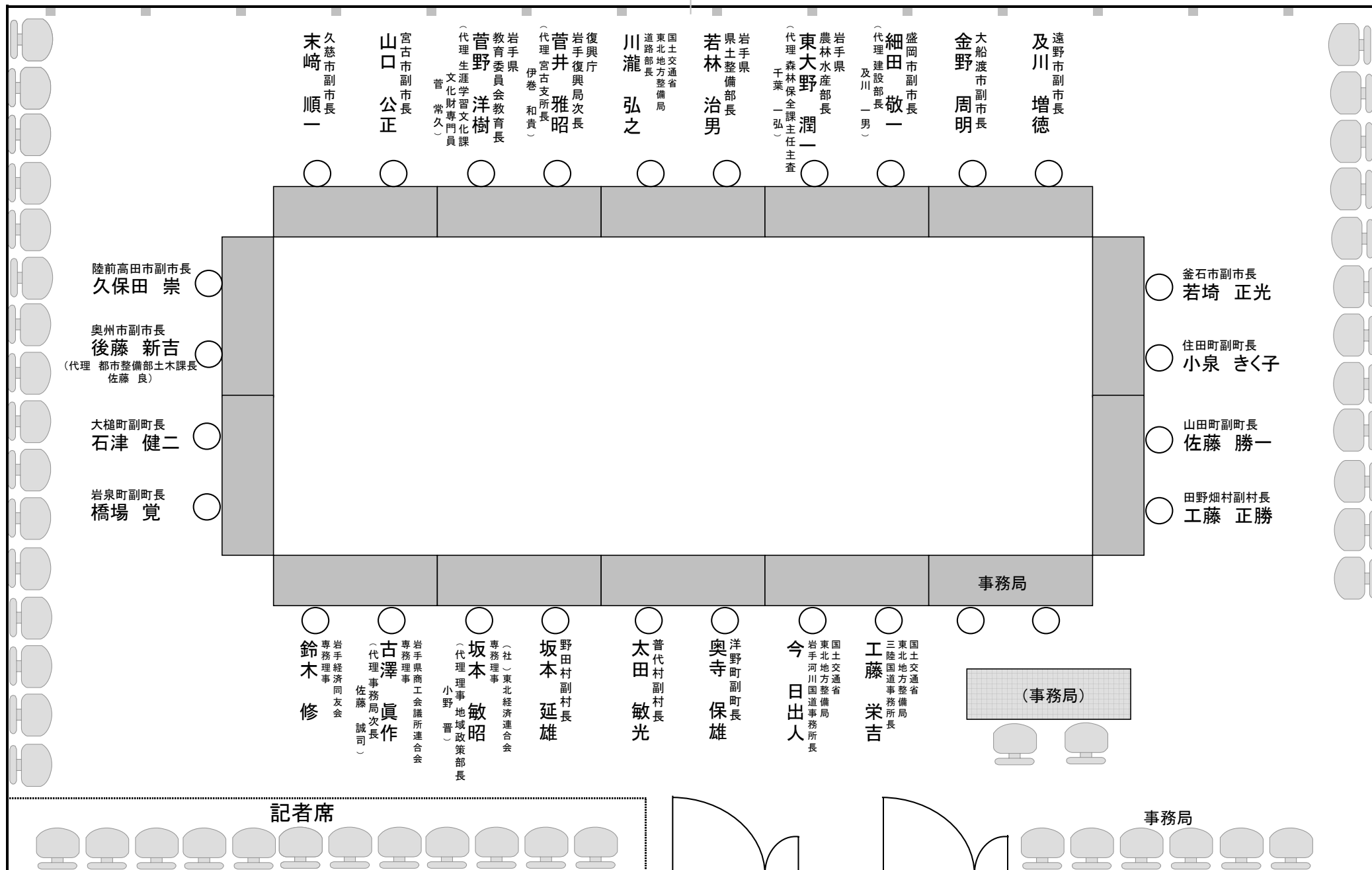
3) その他

「復興道路会議～岩手県～」

役 職 名	氏 名
岩手県県土整備部長	若林 治男
岩手県農林水産部長	東大野 潤一
岩手県教育委員会教育長	菅野 洋樹
盛岡市副市長	細田 敬一
宮古市副市長	山口 公正
大船渡市副市長	金野 周明
花巻市副市長	高橋 公男
久慈市副市長	末崎 順一
遠野市副市長	及川 増徳
陸前高田市副市長	久保田 崇
釜石市副市長	若崎 正光
奥州市副市長	後藤 新吉
住田町副町長	小泉 きく子
大槌町副町長	石津 健二
山田町副町長	佐藤 勝一
岩泉町副町長	橋場 覚
田野畑村副村長	工藤 正勝
普代村副村長	太田 敏光
野田村副村長	坂本 延雄
洋野町副町長	奥寺 保雄
(社)東北経済連合会 専務理事	坂本 敏昭
岩手県商工会議所連合会 専務理事	古澤 眞作
岩手経済同友会 専務理事	鈴木 修
(株)岩手日報社 論説委員会 取締役委員長	小笠原 裕
復興庁 岩手復興局次長	菅井 雅昭
国土交通省 東北地方整備局 道路部長	川瀧 弘之
国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所長	今 日出人
国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所長	工藤 栄吉

「第2回復興道路会議 ～岩手県～」 配席図

宮古地区合同庁舎 3F大会議室



(規約改正案)
復興道路会議～岩手県～
規約

(名称)

第1条 本会議は、「復興道路会議～岩手県～」と称する。

(目的)

第2条 本会議は、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとなる復興道路等の早期完成を図るため、全ての関係者に対する事業進捗への合意形成と、国・県・市町村・関係機関の連携による課題解決を目的として開催する。

(協議事項)

第3条 本会議は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる連絡及び調整を行う。

- 一 事業の合意形成に関する事項
- 二 事業促進の課題解決に関する事項
- 三 その他本会の目的を達成するために必要な事項

(対象事業)

第4条 本会議で対象とする復興道路は、以下のとおりとする。

- 一 三陸沿岸道路
- 二 東北横断自動車道釜石秋田線、宮古盛岡横断道路
- 三 その他

(組織)

第5条 本会議は、以下の構成員をもって組織する。

- 一 岩手県、復興庁 岩手復興局、
国土交通省 東北地方整備局
- 二 復興道路等の関係市町村
- 三 地域経済界及び報道関係代表

(事務局)

第6条 本会議の庶務は、岩手県県土整備部及び国土交通省東北地方整備局道路部において処理する。

(雑則)

第7条 この規約に定めるもののほか、本会議の運営に関して必要な事項は会議において定める。

◆【岩手県】復興道路・復興支援道路の現況について

(H24.2末時点)※用地、埋蔵文化財、保安林等については、事業主体が既存の資料を基に算定した概算値であり、事業主体及び関係機関の今後の調査の進展により変動あり

路線名	延長	用地買収必要面積 (H24.2末)	共有地等 (H24.2末)	埋蔵文化財調査 (H24.2末)	保安林 (H24.2末)
①三陸沿岸道路					
新規事業化区間	122km	441ha	63件	69箇所 50ha	13箇所 12ha
事業中区間	43km	89ha	4件	33箇所 37ha	2箇所 2ha
小計	165km	530ha	67件	102箇所 86ha	15箇所 13ha
②宮古盛岡横断横断道路					
新規事業化区間	48km	調査中	調査中	調査中	調査中
事業中区間	17km	15ha	-	2箇所 2ha	-
小計	65km	15ha		2箇所 2ha	
③東北横断自動車道 釜石秋田線					
新規事業化区間	17km	88ha	11件	8箇所 5ha	8箇所 (4箇所) 10ha (10ha)
事業中区間	33km	0.03ha	2件	3箇所 6ha	-
小計	50km	88ha	13件	11箇所 10ha	8箇所 (4箇所) 10ha (10ha)
合計					
※ 新規事業化区間	187km	529ha	74件	77箇所 54ha	21箇所 (4箇所) 21ha (10ha)
事業中区間	93km	104ha	6件	38箇所 44ha	2箇所 2ha
計	280km	632ha	80件	115箇所 98ha	23箇所 (4箇所) 23ha (10ha)

※宮古盛岡横断道路の調査中区間は除く

※()書きは、大臣承認案件

◆【岩手県】復興道路・復興支援道路の現況について(新規事業化区間)

(H24.2末時点)※用地、埋蔵文化財、保安林等については、事業主体が既存の資料を基に算定した概算値であり、事業主体及び関係機関の今後の調査の進展により変動あり

路線名		延長	測量立入説明会	事業進捗率※1	用地買収率※2	用地買収必要面積(H24.2末)	共有地等(H24.2末)	埋蔵文化財調査		保安林(H24.2末)	H23年度の事業内容	
市町村	事業箇所名							(H24.2末)	分布調査H24.3末		H24年度の事業内容	
①三陸沿岸道路												
陸前高田市	唐桑北～陸前高田	新規	10km 岩手県内 8km	12/17完	約7%	-	30ha	3件	-	完了	1箇所 0ha	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事
大船渡市 釜石市	吉浜～釜石	新規	14km	11/29完 12/6完	約5%	-	27ha	10件	3箇所 1ha	完了	4箇所 2ha	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事
山田町	山田～宮古南	新規	14km	12/5完 12/10完	約6%	-	55ha	33件	25箇所 25ha	H24.3着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事
宮古市	宮古中央～田老	新規	21km	12/11完	約4%	-	55ha	6件	14箇所 9ha	H24.3着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事
岩泉町	田老～岩泉	新規	6km	12/7完	約6%	-	13ha	11件	2箇所 1ha	H24.3着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事
田野畑村	田野畑南～尾肝要	新規	6km	2/2完	約7%	-	30ha	-	9箇所 5ha	H24.4着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事
	尾肝要～普代	新規	8km	1/25完	約8%	-	29ha	-	1箇所 0ha	H24.4着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事
普代村	普代～久慈	新規	25km	2/1完	約8%	-	98ha	-	7箇所	H24.4着手	8箇所	測量、地質調査、道路設計
野田村				2/6完								調査設計、用地買収、改良工事
久慈市				1/27完								
洋野町	侍浜～階上	新規	23km 岩手県内 20km	1/19完 1/31完	約7%	-	105ha	-	8箇所 4ha	H24.4着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事
小計												
新規事業化区間			122km	完了	約6%	-	441ha	63件	69箇所 50ha		13箇所 12ha	
計			122km		約6%	-	441ha	63件	69箇所 50ha		13箇所 12ha	
②宮古盛岡横断道路												
宮古市	宮古～箱石	新規	33km	H24.3 ※現道活用区間除く	約1%	-	調査中	調査中	調査中	H24.4着手	調査中	測量、道路設計 調査設計
	平津戸・岩井～松草	新規	7km		約1%	-	調査中	調査中	調査中	H24.4着手	調査中	測量、道路設計 調査設計
盛岡市	区界～築川	新規	8km		H24.3	約1%	-	調査中	調査中	調査中	H24.4着手	調査中
小計												
新規事業化区間			48km	未	約1%	-	調査中	調査中	調査中		調査中	
計			48km		約1%	-	調査中	調査中	調査中		-	
③東北横断自動車道 釜石秋田線												
釜石市	釜石～釜石西	新規	6km	12/8完	約10%	-	26ha	1件	2箇所 1ha	完了	4箇所 0.01ha	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事
遠野市	遠野住田～遠野	新規	11km	12/18完	約10%	-	62ha	10件	6箇所 4ha	H24.3着手	4箇所 10ha (4箇所 10ha)	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事
小計												
新規事業化区間			17km	完了	約10%	-	88ha	11件	8箇所 5ha		8箇所 10ha (4箇所 10ha)	
計			17km		約10%	-	88ha	11件	8箇所 5ha		8箇所 10ha (4箇所 10ha)	
合計												
※ 新規事業化区間			187km		約5%	-	529ha	74件	77箇所 54ha		21箇所 21ha (4箇所 10ha)	※1:事業進捗率は平成23年度三次補正投入時点 ※2:用地買収率は平成23年12月時点 ※3:いずれも事業計画通知(H24.2)による
※ 計			187km		約5%	-	529ha	74件	77箇所 54ha		21箇所 21ha (4箇所 10ha)	

※宮古盛岡横断道路の調査中区間は除く

()書きは、大臣承認案件

◆【岩手県】復興道路・復興支援道路の現況について(事業中区間)

(H24.2末時点)※用地、埋蔵文化財、保安林等については、事業主体が既存の資料を基に算定した概算値であり、事業主体及び関係機関の今後の調査の進展により変動あり

市町村	路線名		延長	測量立入説明会	事業進捗率※1	用地買収率※2	用地買収必要面積(H24.2末)	共有地等(H24.2末)	埋蔵文化財調査		保安林(H24.2末)	H23年度の事業内容	
	事業箇所名								(H24.2末)	分布調査H24.3末		H24年度の事業内容	
①三陸沿岸道路													
陸前高田市	高田道路(H25全線)	事業中	8km うち供用中4km	-	約73%	約98%	1ha	1件	-	-	-	-	用地買収、改良工事
大船渡市	吉浜道路	事業中	4km	-	約36%	約79%	1ha	-	2箇所 2ha	H24.5～ 試掘	-	-	改良工事、舗装工事
釜石市	釜石山田道路	事業中	23km うち供用中5km	-	約31%	約77%	67ha	1件	15箇所	完了	2箇所 2ha	-	設計、用地買収、改良工事、橋梁工事
大槌町				トンネル工事									
山田町				設計、用地買収、改良工事、橋梁工事									
山田町	トンネル工事												
田野畑村	尾肝要道路(H25全線)	事業中	5km	-	約62%	100%	-	-	-	-	-	-	改良工事、トンネル工事
普代村	普代バイパス(H24全線)	事業中	4km	-	約97%	約89%	2ha	1件	-	-	-	-	改良工事、トンネル工事、舗装工事
久慈市	久慈北道路	事業中	8km	-	約15%	約50%	19ha	1件	16箇所 24ha	H24.4～ 試掘	-	-	用地買収、改良工事、橋梁工事
久慈市	橋梁下部工												用地買収、改良工事、橋梁下部工
小計													
事業中区間			43km	-	約44%	約79%	89ha	4件	33箇所 37ha		2箇所 2ha		
計			43km		約44%	約79%	89ha	4件	33箇所 37ha		2箇所 2ha		
②宮古盛岡横断道路													
宮古市	宮古西道路	事業中(県)	4km	-	約29%	約71%	5ha	-	-	-	-	-	道路設計、用地買収、橋梁工事、改良工事
盛岡市	築川道路(H25全線)	事業中(県)	7km	-	約99%	約99%	0.3ha	-	-	-	-	-	道路設計、用地買収、橋梁工事、改良工事
盛岡市	都南川目道路	事業中	6km	-	約21%	約42%	9ha	-	2箇所 2ha	完了	-	-	用地買収、改良舗装工事、附帯工事
盛岡市	改良舗装工事、附帯工事												道路設計、改良工事
盛岡市	トンネル工事												道路設計、用地買収、改良工事、トンネル工事
小計													
事業中区間			17km	-	約45%	約69%	15ha	-	2箇所 2ha		-		
計			17km		約45%	約69%	15ha	-	2箇所 2ha		-		
③東北横断自動車道 釜石秋田線													
遠野市	遠野～宮守(H27全線)	事業中	9km	-	約42%	約99%	0.001ha	1件	3箇所 6ha	H24.4～ 本調査	-	-	用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事
奥州市	宮守～東和(H24全線)	事業中	24km	-	約90%	約99%	0.03ha	1件	-	-	-	-	用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事
花巻市				-					用地買収、改良工事、トンネル工事、舗装工事				
花巻市	舗装工事												用地買収、改良工事、舗装工事
小計													
事業中区間			33km	-	約76%	約99%	0.03ha	2件	3箇所 6ha		-		
計			33km		約76%	約99%	0.03ha	2件	3箇所 6ha		-		
合計													
事業中区間			93km		約52%	約84%	104ha	6件	38箇所 44ha		2箇所 2ha		
計			93km		約52%	約84%	104ha	6件	38箇所 44ha		2箇所 2ha	(0箇所) (0ha)	

※1:事業進捗率は平成23年度三次補正投入時点
 ※2:用地買収率は平成23年12月時点
 ※3:いずれも事業計画通知(H24.2)による

()書きは、大臣承認案件

◆【岩手県】復興道路・復興支援道路の現況について

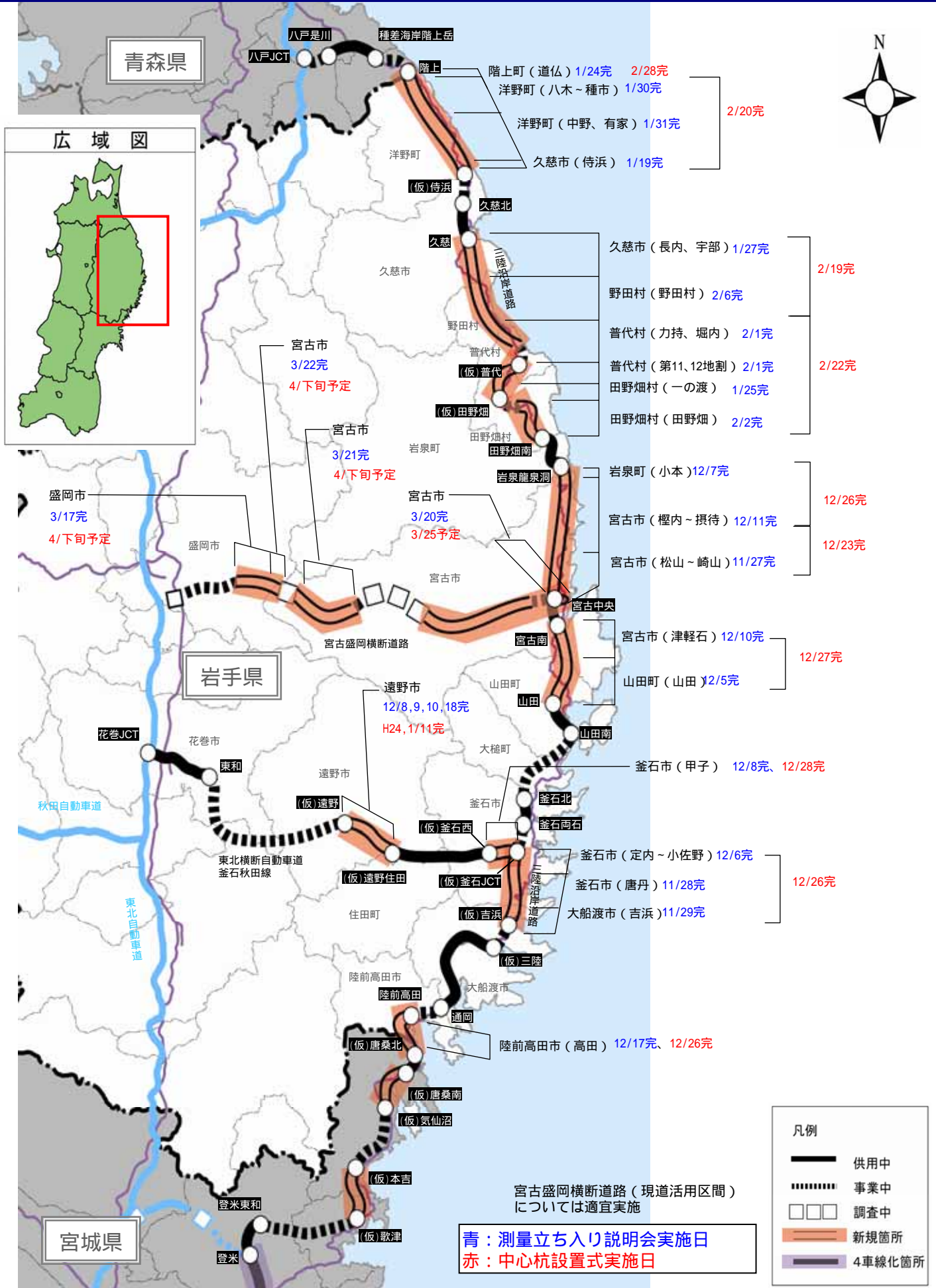
(H24.2末時点)※用地、埋蔵文化財、保安林等については、事業主体が既存の資料を基に算定した概算値であり、事業主体及び関係機関の今後の調査の進展により変動あり

市町村	路線名	事業箇所名	延長	測量立入説明会	事業進捗率※1	用地買収率※2	用地買収必要面積(H24.2末)	共有地等(H24.2末)	埋蔵文化財調査		保安林(H24.2末)	H23年度の事業内容	
									(H24.2末)	分布調査H24.3末		H24年度の事業内容	
①三陸沿岸道路													
陸前高田市	唐桑北～陸前高田	新規	10km 岩手県内 8km	12/17完	約7%	-	30ha	3件	-	完了	1箇所 0ha	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事	
	高田道路 (H25全線)	事業中	8km うち供用中 4km	-	約73%	約98%	1ha	1件	-	-	-	用地買収、改良工事 改良工事、舗装工事	
大船渡市	大船渡三陸道路	供用中											
	吉浜道路	事業中	4km	-	約36%	約79%	1ha	-	2箇所 2ha	H24.5～ 試掘	-	用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事 改良工事、橋梁工事、トンネル工事	
釜石市	吉浜～釜石	新規	14km	11/29完 12/6完	約5%	-	27ha	10件	3箇所 1ha	完了	4箇所 2ha	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事	
大槌町	釜石山田道路	事業中	23km うち供用中 5km	-	約31%	約77%	67ha	1件	15箇所 11ha	完了	2箇所 2ha	設計、用地買収、改良工事、橋梁工事 トンネル工事 設計、用地買収、改良工事、橋梁工事 トンネル工事	
山田町	山田道路	供用中											
宮古市	山田～宮古南	新規	14km	12/5完 12/10完	約6%	-	55ha	33件	25箇所 25ha	H24.3着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事	
	宮古道路	供用中											
岩泉町	宮古中央～田老	新規	21km	12/11完	約4%	-	55ha	6件	14箇所 9ha	H24.3着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事	
	田老～岩泉	新規	6km	12/7完	約6%	-	13ha	11件	2箇所 1ha	H24.3着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事	
田野畑村	中野バイパス	供用中											
	田野畑南～尾肝要	新規	6km	2/2完	約7%	-	30ha	-	9箇所 5ha	H24.4着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事	
普代村	尾肝要道路 (H25全線)	事業中	5km	-	約62%	100%	-	-	-	-	-	改良工事、トンネル工事 改良工事、トンネル工事、舗装工事	
	尾肝要～普代	新規	8km	1/25完	約8%	-	29ha	-	1箇所 0ha	H24.4着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事	
野田村	普代バイパス (H24全線)	事業中	4km	-	約97%	約89%	2ha	1件	-	-	-	用地買収、改良工事、橋梁工事 用地買収、改良工事、橋梁工事、舗装工事	
	普代～久慈	新規	25km	2/1完 2/6完 1/27完	約8%	-	98ha	-	7箇所 5ha	H24.4着手	8箇所 9ha	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事	
久慈市	久慈道路	供用中											
	久慈北道路	事業中	8km	-	約15%	約50%	19ha	1件	16箇所 24ha	H24.4～ 試掘	-	用地買収、改良工事、橋梁下部工 用地買収、改良工事、橋梁下部工	
洋野町	侍浜～階上	新規	23km 岩手県内 20km	1/19完 1/31完	約7%	-	105ha	-	8箇所 4ha	H24.4着手	-	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事	
小計													
新規事業化区間			122km	完了	約6%	-	441ha	63件	69箇所 50ha		13箇所 12ha		
事業中区間			43km	-	約44%	約79%	89ha	4件	33箇所 37ha		2箇所 2ha		
計			165km		約15%	約26%	530ha	67件	102箇所 86ha		15箇所 13ha		
②宮古盛岡横断道路													
宮古市	宮古西道路	事業中 (県)	4km	-	約29%	約71%	5ha	-	-	-	-	道路設計、用地買収、橋梁工事、改良工事 道路設計、用地買収、橋梁工事、改良工事	
	宮古～箱石	新規	33km	H24.3 ※現道活用区間除く	約1%	-	調査中	調査中	調査中	H24.4着手	調査中	測量、道路設計 調査設計	
盛岡市	平津戸・岩井～松草	新規	7km	H24.3	約1%	-	調査中	調査中	調査中	H24.4着手	調査中	測量、道路設計 調査設計	
	区界～築川	新規	8km	H24.3	約1%	-	調査中	調査中	調査中	H24.4着手	調査中	測量、道路設計 調査設計	
盛岡市	築川道路 (H25全線)	事業中 (県)	7km	-	約99%	約99%	0.3ha	-	-	-	-	用地買収、改良舗装工事、附帯工事 用地買収、改良舗装工事、附帯工事	
	都南川目道路	事業中	6km	-	約21%	約42%	9ha	-	2箇所 2ha	完了	-	道路設計、改良工事 道路設計、用地買収、改良工事、トンネル工事	
小計													
新規事業化区間			48km	未	約1%	-	調査中	調査中	調査中		調査中		
事業中区間			17km	-	約45%	約69%	15ha	-	2箇所 2ha		-		
計			65km		約11%	-	15ha	-	2箇所 2ha		-		
③東北横断自動車道 釜石秋田線													
釜石市	釜石～釜石西	新規	6km	12/8完	約10%	-	26ha	1件	2箇所 1ha	完了	4箇所 0.01ha	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事	
遠野市	仙人峠道路	供用中											
	遠野住田～遠野	新規	11km	12/18完	約10%	-	62ha	10件	6箇所 4ha	H24.3着手	4箇所 10ha (4箇所 10ha)	測量、地質調査、道路設計 調査設計、用地買収、改良工事	
奥州市	遠野～宮守 (H27全線)	事業中	9km	-	約42%	約99%	0.001ha	1件	3箇所 6ha	H24.4～ 本調査	-	用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事 用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事	
	宮守～東和 (H24全線)	事業中	24km	-	約90%	約99%	0.03ha	1件	-	-	-	用地買収、改良工事、トンネル工事、舗装工事 用地買収、改良工事、舗装工事	
花巻市	東和～花巻	供用中											
小計													
新規事業化区間			17km	完了	約10%	-	88ha	11件	8箇所 5ha		8箇所 10ha (4箇所 10ha)		
事業中区間			33km	-	約76%	約99%	0.03ha	2件	3箇所 6ha		-		
計			50km		約50%	約62%	88ha	13件	11箇所 10ha		8箇所 10ha (4箇所 10ha)		
合計													
※ 新規事業化区間			187km		約5%	-	529ha	74件	77箇所 54ha		21箇所 21ha (4箇所 10ha)		
事業中区間			93km		約52%	約84%	104ha	6件	38箇所 44ha		2箇所 2ha		
計			280km		約18%	-	632ha	80件	115箇所 98ha		23箇所 23ha (4箇所 10ha)		

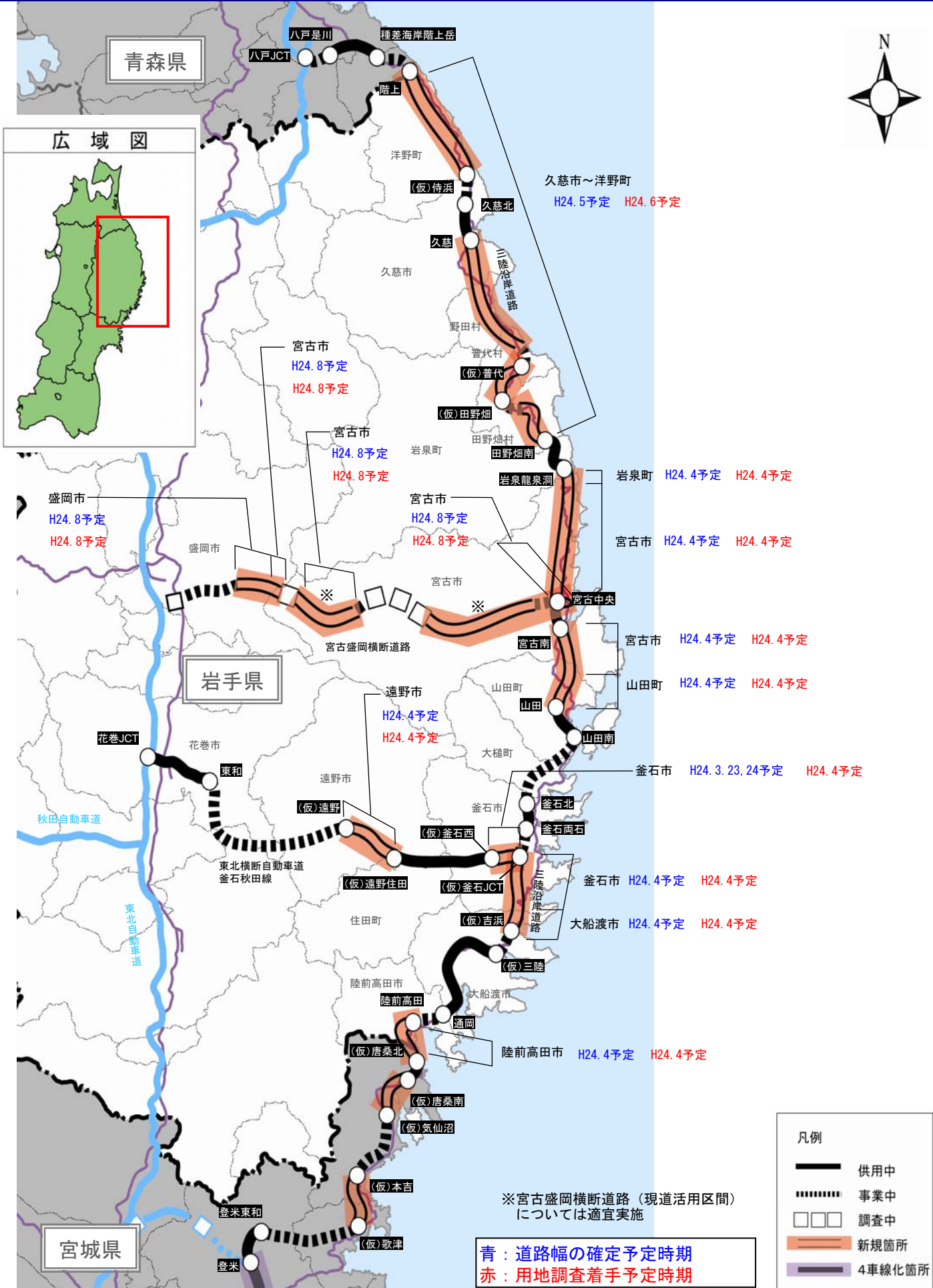
※1:事業進捗率は平成23年度三次補正投入時点
 ※2:用地買収率は平成23年12月時点
 ※3:いずれも事業計画通知(H24.2)による

復興道路の測量立入説明会・中心杭設置式の実施状況 (岩手県)

資料 - 3



復興道路の道路幅の確定・用地調査着手予定時期 (岩手県)



1. 地域と一体となった事業の推進

岩手県(11/25)、宮城県(11/25)、福島県(11/26)で復興道路会議を設置
ホームページによる情報発信、進捗状況等の公表(H24.3.19)
岩手県、岩手県土地開発公社、9市町村へ用地取得事務の委託

2. 現地での取り組み

用地アセスメント(用地リスクの事前調査)の実施
事業化後、測量立入説明会、中心杭打設に着手
中心杭打設後、道路幅確定前に一筆境界測量を実施

3. 入札・契約及び事業執行体制の工夫

手続きの簡素化(期間短縮、総合評価の簡略化など)
発注ロットの大型化
事業推進PPPの導入

地域と一体となった事業の推進(復興道路会議)

一日も早い完成に向けて「スピードアップ」が必要

(スピードアップのポイント)

全ての関係者に対する事業進捗への合意形成
国・県・市町村・関係機関の連携による課題解決

「復興道路会議」を設置

岩手県	11月25日
宮城県	11月25日
福島県	11月26日

(会議の構成)

県知事、東日本大震災復興対策本部
現地対策本部長(現 復興大臣政務官)、
関係市町村長、地元経済界、地元メディア、
東北地方整備局長



復興道路会議の様子

ホームページによる情報発信、進捗状況等の公表

復興道路ポータルサイトの開設（H24.3.19）

- ・事業を円滑に進めていくため、地域の皆さまや関係機関のご理解、ご協力が必要
このため、HPにより情報発信、進捗状況等を公表

TOP > 復興道路TOP > 復興道路

復興道路

復興道路・復興支援道路の概要



▶ 新着情報

復興道路の概要やルート決定の経緯を紹介しています

▶ 概要

▶ 進捗状況

県・市町村の復興計画や進捗状況を確認できます

県別進捗状況

▶ 青森県

▶ 岩手県

▶ 宮城県

▶ 福島県

路線毎に各区間の進捗状を確認できます

路線別進捗状況

▶ 三陸沿岸道路

▶ 宮古盛岡横断道路

(宮古～盛岡)

▶ 東北横断自動車道

釜石秋田線 (釜石～花巻)

▶ 東北中央自動車道

(相馬～福島)

● 復興道路のTOPページへ

復興道路

東北地方整備局のトップページのここをクリック！

現地での取り組み

用地アセスメント（用地リスクの事前調査）の実施

- ・ルートが通過する区間において用地アセスメントを実施し、共有地や埋蔵文化財、保安林等の規模を事前調査し、ルートの詳細検討や効率的な事業執行に活用

測量立入説明会、中心杭打設に着手

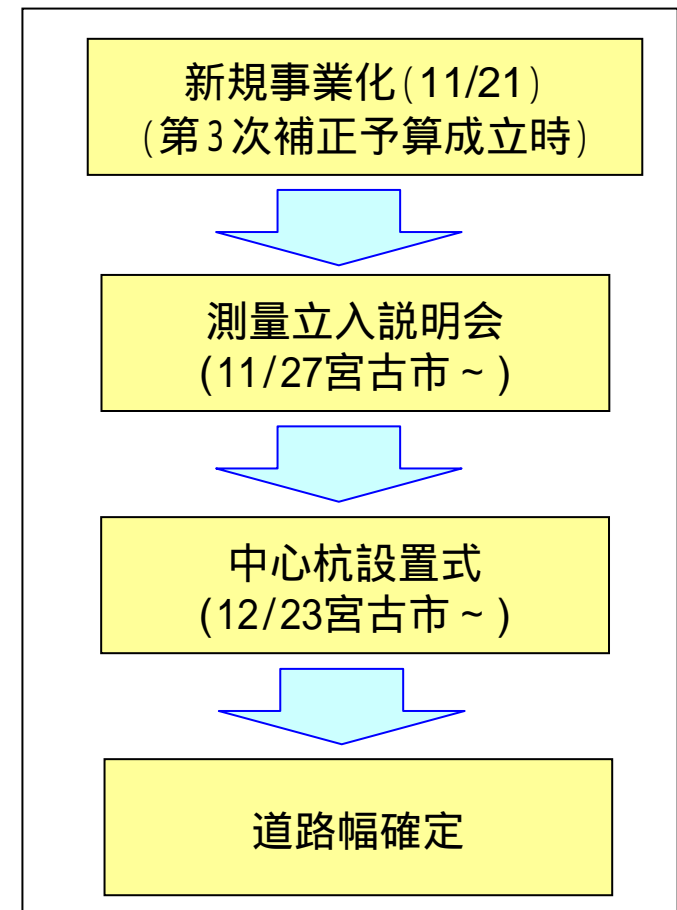
- ・事業化後、地元のご協力をいただきながら測量立入説明会、中心杭打設に着手
- ・岩手県においては、新規11区間(139km)で測量立入説明会、中心杭の打設完了

(東北全体)
新規18区間(224km)のうち、15区間
(176km)で測量立入説明会、中心杭の打設完了

中心杭打設後、道路幅確定前に、一筆境界測量を実施し、取得用地の調査測量期間を短縮化

今後の予定

- ・今後、早期に道路幅を確定
- ・道路幅確定後、設計説明会を開催し、用地調査に着手予定



道路幅確定に向けた概ねの流れ

地元のご協力をいただき測量立入説明会に着手

測量立入説明会：三陸沿岸道路(宮古中央～田老)宮古市内

開催日時：平成23年11月27日(日) 19:00～

開催場所：岩手県宮古市小山田地内(宮古市民総合体育館)

説明地区：松山、千徳、近内、山口、崎山地区等



宮古市長の挨拶



説明会開催状況(約90名出席)

地元のご協力をいただき中心杭の打設に着手

中心杭設置式：三陸沿岸道路
(唐桑北～陸前高田)

開催日時：平成23年12月26日(月) 14:15～
開催場所：岩手県陸前高田市竹駒町 地内



中心杭打設の状況(陸前高田市)

中心杭設置式：東北横断自動車道釜石秋田線
(釜石～釜石西)

開催日時：平成23年12月28日(水) 11:00～
開催場所：岩手県釜石市甲子町 地内



中心杭打設の状況(釜石市)

入札・契約及び事業執行体制の工夫

1. 復旧・復興工事等の発注規模の大型化

トンネル工事、橋梁上部工・下部工工事、舗装工事等の大型化

- ・ H 2 3 は復興道路、復興支援道路の 5 件
(釜石山田道路で 改良+トンネル+橋梁 など)

2. 入札・契約手続き期間の短縮による迅速化

3. 事業推進 P P P の導入

P P P : Public Private Partnership

官民が連携して新規事業化区間の業務を実施

民間技術者チームが、従来、発注者の行ってきた協議調整等の施工前の業務を発注者と一体となって実施

○円滑な事業用地の取得について

事業を施行するためには事業予定地における用地取得が必要不可欠であり、用地取得にあたっては土地所有者の皆様と用地協議を重ね、ご納得いただいたうえで契約をいただく**任意による取得が基本**



広範囲に及ぶ地域が津波の被害を受けたことにより、土地所有者や相続人が死亡又は行方不明のケースが多数発生



用地協議の相手方が定まらず、任意取得に必要な合意形成が困難な状態も

【協議の相手方等が定まらないケース】

①行方・安否不明

戸籍調査や関係者等への聞き取り調査によっても、所在・安否が確認出来ないケース など
(岩手県において、約5件程度確認)

③多数共有地

登記簿で多数の者の共有名義となっており、長く放置された結果、名義人の存否をはじめ相続人の調査や持ち分の確定が困難なケース など
(岩手県において、約60件程度確認)

②相続人不明

土地所有者等の死亡を確認し、戸籍調査によって相続人が確定したものの、当該相続人の中に行方不明者や相続争いがあるケース など

④境界未確定

隣接する土地所有者間でそれぞれの主張等が異なり、土地の境界が確定出来ないケース など
(岩手県において、約15件程度確認)

取得手続きを可能とする、各種法制度の活用

任意協議と同時並行

復興(支援)道路の早期完成に寄与

県・市町村における主な取り組みについて

岩手県	<p>○広報関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「いわて復興だより」、「県土づくりNEWS」やホームページで「復興道路会議」などの取り組みについて情報発信 <p>○組織・体制の強化等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県土整備部道路建設課内に復興道路相談窓口の設置(H24. 1) ・岩手県復興道路整備促進対策室の設置(H24. 2) ・復興事業にかかる職員体制強化:保安林関係 2名(H24. 4予定) ・復興事業にかかる職員体制強化:埋蔵文化財関係 15名(H24. 4予定) ・復興事業にかかる職員体制強化:用地事務関係 19名(H24. 4予定) <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興道路を核とした道路施策の取組方針の策定(H24. 3予定) ・保安林解除審査期間短縮のため、林野庁と県とで合同審査を行う ・関係機関による復興道路整備促進連絡調整会議を開催
盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・宮古市に埋蔵文化財調査職員を1名派遣(H24. 4予定) ・埋蔵文化財調査、保安林解除手続きに関し窓口となる県に協力
宮古市	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報みやこ」へ埋文・測量調査等立ち入りの情報掲載(説明会6回開催、450人以上参加) ・復興道路推進室の体制強化(2名増員)(H24. 4予定)
大船渡市	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報大船渡」やホームページ等での事業概要等の掲載(予定)
久慈市	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報くじ」へ説明会の日程等、復興道路関連記事を掲載 ・空き家等に係る関連情報をホームページで発信 ・用地事務受託にかかる職員体制強化(2名増員) ・定年退職する職員を用地買収専属職員として再任用 ・埋蔵文化財調査にかかる職員体制強化(1名増員)
遠野市	<ul style="list-style-type: none"> ・地元ケーブルテレビ活用により事業理解の醸成を図る ・中心杭やルート図面を庁舎ロビーに展示 ・説明会に際し、関係地区も含めチラシを配布、広く地域住民へ周知 ・環境整備部に2名の専任職員を配置した復興道路整備支援室を設置(H23. 12)

県・市町村における主な取り組みについて

陸前高田市	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報りくぜんたかた」へ各段階における事業状況の掲載
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> ・「釜石新聞(全戸配布)」へ調査等土地立ち入り説明会等の情報掲載 ・高規格道路対策室とまちづくり推進室の体制強化(予定)
奥州市	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報おうしゅう」やホームページにより復興道路の進捗状況を提供(予定)
住田町	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビや広報を通じて周知を図る等の協力。(予定)
大槌町	<ul style="list-style-type: none"> ・地域整備部を1課体制から、3課体制とする(H24. 4予定) ・地域整備部高規格幹線道路対策室の体制強化(増員)(予定) ・用地関係職員の増員(予定)
山田町	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報やまだ」へ調査等立入り説明会等の情報掲載 ・三陸沿岸道路推進室を調整窓口として3名体制で設置(H24. 4予定) ・用地買収を担当したOBを活用(予定)
岩泉町	<ul style="list-style-type: none"> ・町民一人ひとりが、早期復興と道路の果たす役割について考える「復興促進町民大会」を開催 ～ 全町民が心を一つ」にして復興に対する決意を新たにし、道路など社会基盤整備を図り、復興を成し遂げる ～ ことを決議 ・「広報いわいずみ」へ復興道路に関する経緯を掲載 ・復興課(5名)を新設設置(H24. 4予定) ・まちづくりの用地取得のため、取得予定地に現地事務所を開設(予定)
田野畑村	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報たのはた」へ調査等土地立ち入り説明会等の情報掲載 ・地域整備課内に復興道路調整窓口を設置 ・復興道路対策室の体制を強化(3名増員)、更に体制を強化(予定) ・用地交渉の経験のあるOBを4名配置(予定) ・復興道路をPRする看板の設置
普代村	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報ふだい」へ復興道路に関する情報掲載(予定) ・建設水産課に震災復興室を設置し、調整窓口とし体制強化(2名増員)(予定) ・用地事務の対応として組織・体制強化(予定)
野田村	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報のだ」やホームページへ復興道路説明会等の情報を掲載(予定) ・今後OBの活用等を検討(予定)

県・市町村における主な取り組みについて

洋野町	<ul style="list-style-type: none">・「広報ひろの」を活用し復興道路の概要等を周知・説明会に際し、全世帯にチラシを配布、事業の概要を広く住民に周知・建設課に復興道路整備支援室を設置(H24. 1)・復興道路整備支援室長を専任体制 (H24. 4予定)
-----	--

1. 広報誌等での情報発信

【事例】美しい県土づくりNEWS

毎月1回発行(県HPで公開)

9月号、11月号、12月号、1月号、2月号に
関連記事を掲載(3月号も掲載予定)



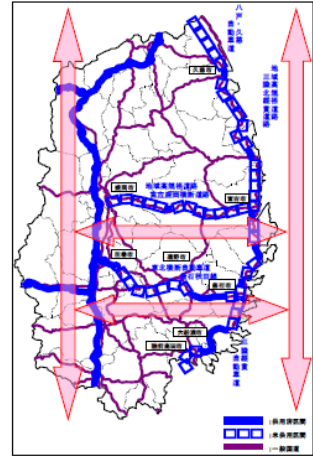
【事例】復興実施計画の取組状況

復興実施計画における主な取組の進捗状況を毎月公表

2 交通ネットワーク

(1) 復興道路の整備

- 「復興道路」については、3年間での重点投資、5年以内の全線開通を国に強く要望してきたところ、国の平成23年度第3次補正予算で、県が要望していた全ての区間が新規事業化され、本県に約607億円(事業費)が配分されました。
- 国の平成24年度予算案においても、国全体で約1,088億円(国費)が措置されたほか、体制強化を図るため、南三陸国道事務所の新設が盛り込まれました。
- 国との共催により平成23年11月20日に「復興道路着工式」を開催したほか、同年11月25日に早期完成に向けて、国と県、関係市町村による「第1回復興道路会議」を開催しました。
- 国では、三陸沿岸道路の「測量等土地立入り説明会」を平成23年11月27日から、東北横断自動車道釜石秋田線の「測量等土地立入り説明会」を同年12月8日から開催し、測量等を順次実施中です。
- 県では、「復興道路整備促進連絡調整会議」の場で埋蔵文化財調査や保安林解除等の関係機関協議の迅速化を図るとともに、平成24年2月から「復興道路整備促進対策室」を設置し、復興道路に関する窓口を明確化するなど、迅速かつ円滑な整備促進に取り組んでいます。また、復興道路の整備効果を最大限に波及させるため、「いわての道を考える懇談会」を開催し、「復興道路を核とした道路施策の取組方針」について年度内に策定する予定です。



岩手県内の復興道路計画路線

○復興道路整備状況(平成24年2月29日現在)

路線名	計画延長 (km)	供用中		供用中+事業中	
		延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
三陸沿岸道路	213	48	22%	213	100%
東北横断自動車道釜石秋田線	80	30	38%	80	100%
宮古盛岡横断道路	100	1	1%	66	66%
合計	393	79	20%	359	91%

2. 組織・体制の強化

○ 復興道路整備促進対策室の設置(H24.2.21)

室長 県土整備部長
 次長 県土整備企画室長、道路都市担当技監
 事務局 県土整備部道路建設課

○ 用地事務受託にかかる職員体制強化

復興事業にかかる用地事務関係職員を19名
 増員(H24. 2予定)



▲復興道路整備促進対策室の設置

3. その他

○ 関係機関による復興道路整備促進連絡調整会議を開催

目的:各種協議の円滑化
 構成員:農林水産部森林保全課、教育委員事務局
 生涯学習文化課、県警本部交通規制課、東北電力(株)など20機
 開催状況:計8回開催(H24.3.23時点)
 成果:協議の同時開催、窓口の一元化により協議を効率化
 情報共有により課題等を事前に把握

○ 県事業区間の推進

宮古盛岡横断道路

- ① 築川道路 (H25年供用目標)
- ② 宮古西道路



▲(宮古盛岡横断道路)築川道路
L=6.7km (H25年供用目標)

○ ICアクセス道路の推進

東北横断自動車道釜石秋田線

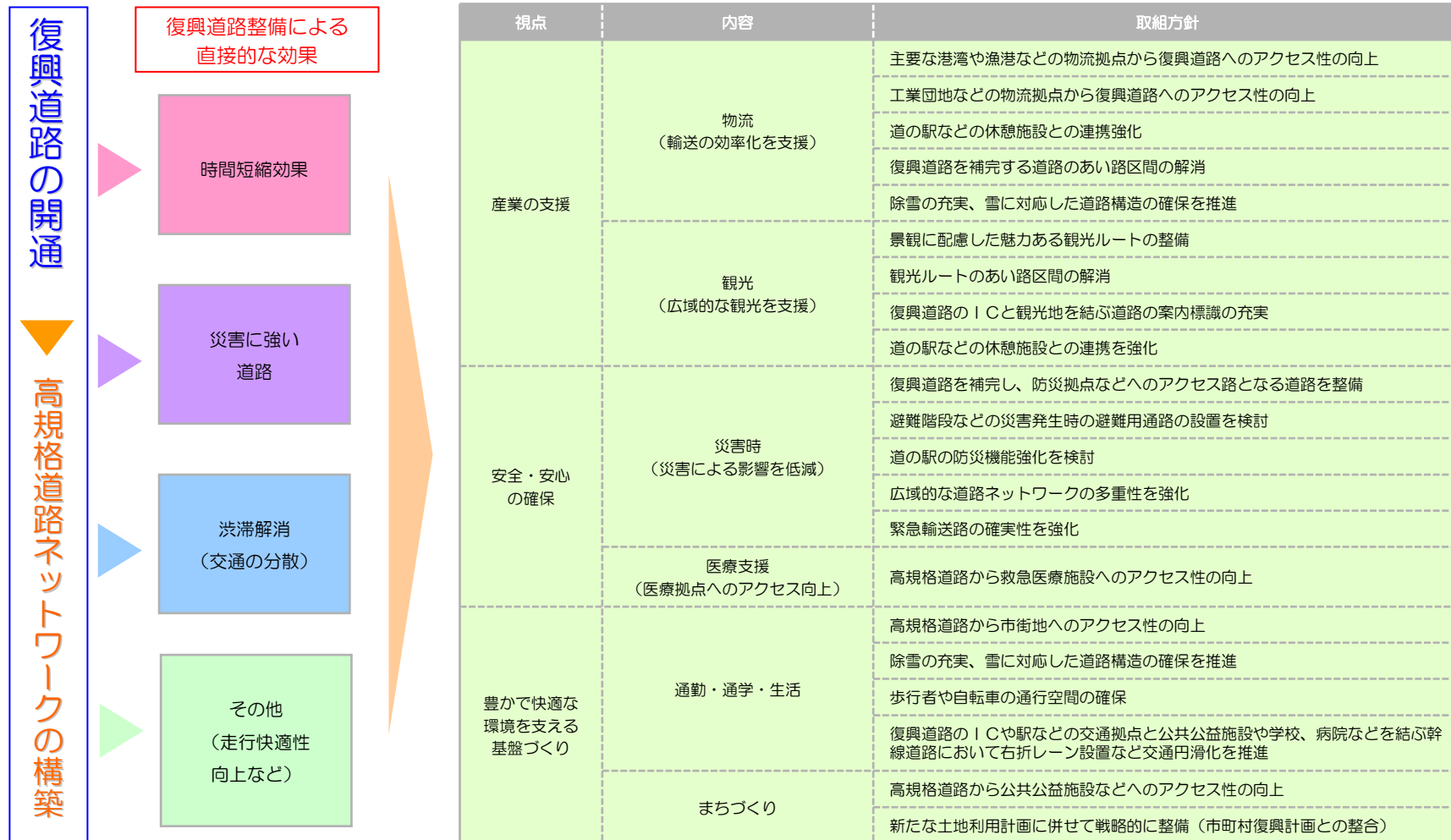
- ① 国) 107号札押(奥州市)
※H23年供用
- ② 一) 遠野住田線新里(遠野市)



▲国道107号札押工区(H23. 10月供用)
【東北横断自動車道釜石秋田線(仮)江刺田瀬ICアクセス道路】

○ 復興道路を核とした道路施策の取組方針の策定

- ・復興道路の整備効果を全県に波及させるために配慮すべき道路施策を定めたもの(3月末公表)
- ・復興道路の整備に併せ、ICと主要施設とのアクセス向上などを推進し、復興道路の整備効果を広く波及させる



埋蔵文化財保護

大震災からの復興の要となる三陸沿岸道路などの復興道路整備。国交省東北地方整備局三陸国道事務所(宮古市)は県教委の協力を得て、埋蔵文化財調査が必要な地点を特定する現地踏査を急ピッチで進めている。遺跡に刻まれた三陸沿岸の歴史を継承しつつ、早期開通実現を目指す。現地踏査に同行した。

国交省と県教委

三陸の歴史継承

復興道路整備と埋蔵文化財調査

- 1 道路の計画
- 2 計画の説明(土地立ち入り了解)
- 3 路線測量・地盤調査
- 4 道路の設計(埋蔵文化財現地踏査)
- 5 設計の説明
- 6 用地幅杭設置
- 7 用地の調査
- 8 用地価格の交渉(契約・補償金支払い)
- 9 工事の説明
- 10 工事
- 11 道路の完成

踏査区間は、国の本年(CI)間。一行は復興度第3次補正予算で新規道路プロジェクトチーム着手が決まった区間のうち、昨年未だ計画ルート中心杭を設置した陸前高田市から岩泉町までの約70キロ区間。道路整備には主に11段階あるが、現在は測量図面や地盤調査

再び尾根へ。道々、一行が会話を交わす。

災害を乗り越えて

ルート計画について、将来的に居住地や商業地になりそうな平地は極力避け、可能な限り短い工事期間で費用も掛からないよう苦心していることを語る小山さん。「全線開通が私の夢。復興、地域振興の一助になってほしい」と並々ならぬ熱意の前田さん。

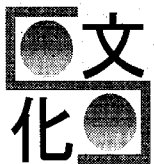
両立へ踏査急ピッチ

復興道路の整備



大震災からの復興に向け、道路ルートの埋蔵文化財現地踏査を急ピッチで進める関係者―釜石市

早期完成に熱意



などに基づく道路の設計(イラスト参照)の段階。新規着手箇所も多く、通常ならここまで2〜3年要する作業を、ここ数カ月で一気に進めている。この日の調査は釜石市定内町の山中、三陸沿岸道路の「(仮)吉浜インターチェンジ(IC)」、釜石ジャンクション(JCT)など。小山さん、と言っても道があるわけではない。動物の足跡をたどるように山中へ分け入る。積雪10センチ以上。すべりまじりに「あ、カモシカだ」。「瞬間、遠巻きにこちらの様子をうかがい、姿を消す。「岩手は自然が豊かですね」と驚く福田さん。

高低差約60メートルと起伏に富んだルートにもかかわらず、平地を歩くようにどんどん進む半沢さん。と静かな語り口に力を込め、立ち木を伝って急斜面を上り、見晴らしのいい尾根へ。

「夏よりいいですよ。踏査は2月9日に始まり、3月11日現在で全体クマが生まれませんか」の5割以上に当たる40センチ以上を終えた。小山さん

遺跡がありそうな地点をチェック。地面に土器が露出していれば大きな手掛かりになるが、雪が深ただけにそれは無理。遺跡分布図、地形や樹齢などから推測していく。

道路整備と埋蔵文化財保護。立場は異なっても復興への思いは熱く。

